

出向く営農レポート

夏野菜の定番! ナスの栽培について



日進地域担当
吉田 萌

高温を好むナスでも真夏はなり疲れなどでどうしても樹勢が弱り、品質の良いナスの収穫が望めなくなります。そこで更新剪定を行い、込み合った葉や枝を除いて病気や害虫の発生を抑えるとともに、古い葉や枝を切り落として株の若返りを促しました。今回はナスの更新剪定を行った圃場へ出向きました。



更新剪定を行った3日後に尾東園芸化成を撒きました。梅雨が明けたら水やりを小まめに行います。新しい枝を伸ばすことにエネルギーが使われ、約1カ月後には秋ナスを収穫できるようになります。秋ナスは昼夜の温度差が大きいと、果肉が引き締まり、うま味がギュッと詰まったナスを収穫できます。



更新剪定を行ったナス

更新剪定のポイント

- 枝を3分の1から3分の2の長さに切り詰めましょう。
- 枝に葉は1～2枚残した状態に剪定しましょう。

